

進捗報告書（実行団体）

Version 1.0

2021年11月30日

[こちらの記載例](#)を参考に作成ください。

また、事業終了時の評価に関する[完了報告書のフォーマット\(暫定\)](#)はこちらです。

事業名:	虐待等で困窮に陥った人への伴走支援
資金分配団体:	公益社団法人 ユニバーサル志縁センター
実行団体名:	社会福祉法人子供の家 アフターケア相談所ゆずりは
実施時期:	2021年8月～2022年2月
事業対象地域:	東京都
事業対象者:	コロナ禍で生活困窮に陥ったひと

I. 事業概要

事業概要
<p>コロナ禍で生活困窮したひとが公的な支援を必要とした時、支援が利用できない相談者への伴走支援 役所、病院、各関係機関への同行などはゆずりはスタッフが一緒に行く 支援対象者はコロナで影響を受けた 30歳未満 東京以外からの相談者とした</p> <ul style="list-style-type: none">○住宅支援 一人暮らしのひとの家賃補助手続き申請、住居確保のための初期費用の手続きの同行○医療支援 産婦人科や精神科など命に関わって医療を必要としている相談者の同行支援 自立支援医療制度及び精神保険福祉手帳取得の手続き同行○生活物資支援 生活困窮に陥った人への食糧医療品などの物資支援○修学支援制度を利用して休学などをした人の手続きサポート

II. 進捗報告の概要

総括
<p>助成金対象となる相談者の性別は、男性からの相談も多く、年代は20代が多い。</p> <p>成人して殻も家庭内の虐待やDVなどで苦しんでいる若者の存在、適切な相談期間につながない実態も見えた。数々の給付金や一時金の制度はあるものの、精神的に不安定になっていたり、対人恐怖、発達障害など抱えた方は、制度の申請もひとりではままたまらない実態も相談を通じて実感している。手続きひとつも、伴走してサポートする支援の必要性を強く感じた。家庭が裕福な状態であっても、親と同居している社会人や学生などの若者がコロナ禍で仕事ができなかったり、アルバイトが減ったり、オンライン授業になったり、友人や恋人の家などに自由に行き来できなくなったことで（レスパイト先が絶たれる）、本来あった親や家族からの支配や精神的虐待が加速し、家から逃げたいという相談も相次いだ。今まで、ゆずりはの相談者の多くは生活困窮をしている一人暮らしの人が多かったが、経済的に安定している家庭で横行していた支配や虐待の現実もコロナによって可視化されたと感じる。親もとから逃げることを優先して、やむをえず大学を休学したり退学したりした人もいた。修学支援制度を利用して進学したひとが、オンライン授業のストレスや生活資金の足しにしていたアルバイト代などの激減などから、学校を休学退学する人も少なくなかった。</p>

Ⅲ.活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
生活保護申請の完了	4人
アパート契約手続き及び身元保証人等の請負	6人
医療支援 産婦人科同行 精神科の通院同行役所手続き	13人

活動	進捗状況	概要
生活保護申請の完了	ほぼ計画通り	相談件数(実数) 4人 相談対応件数(延べ件数) 電話 42件 メール 74件 同行 6件
アパート契約手続き及び身元保証人等の請負	ほぼ計画通り	相談件数(実数) 6人 相談対応件数(延べ件数) 電話 83件 メール 99件 同行 11件数(実数)
医療支援 産婦人科同行 精神科の通院同行役所手続	ほぼ計画通り	相談件数(実数) 13人 相談対応件数(延べ件数) 電話 122件 メール 144件 同行 54件

Ⅳ. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
<p>ゆずりはの伴走支援を受けたひとが、公的な支援金を確保できて安心して生活ができていること、休学を必要としていた学生が休息の期間を経て復学している医療を必要としていたひとが、公的な医療制度を利用できている（自立支援医療制度など）</p> <p>上記を目標としているが、休学した人が復学するには、相談者の状況によって1年以上の時間を要する人もいると感じている。障害年金の手続きを、20歳前後の段階で（本来ならば申請することが必要な状態にも関わらず）していない方が多くいた</p>

V. インプット

		2021 年度		執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥8632500		¥4277548	49%
	管理的経費	¥1225000		¥700000	57%
合計		¥9857500		¥4977548	50%

補足説明	
------	--

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
特にありません

VII. その他

自由記述

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等)		
広報制作物等		
報告書等		

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	されている	事業所長会議は毎月開催されている 理事会、評議会は懸案事項ある際に適宜開催されている
2. 内部通報制度は整備されていますか。	されている	